



発行者

北海道へき地・複式教育研究連盟
<http://dohe kifuku.zenhekiren.net/>

委員長 柿崎 秀 顕
 編集責任者 長谷川 孝
 印刷所 株式会社ビジネスサポート
 岩内郡共和町南幌似39-1 TEL 0135-67-7350
 題字 書家 濱谷 彩鶴 (はまや さいかく) 氏

これまで培ってきた財産を生かし、 新しい時代のへき地・複式教育の創造に向けて

北海道へき地・複式教育研究連盟委員長 柿崎 秀 顕



平成29年度もわずかとなりました。この1年を振り返りますと、新学習指導要領の移行措置に関わる次年度からの教育課程の編成、特に道德の教科化や外国語活動など、かつてない取り組みに奔走した年であった

と思います。

社会の急激な変化と同時に教育界も大きな変化の時代を迎えていることは確かであります。

そのような時期にあってもへき地・複式教育の実践の歩みは止まることなく着実に進められている全道の会員の皆様に改めて敬意を表すると共にお礼を申し上げます。

さて、今年度も本研究連盟の二大事業である、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会と第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会を会員の皆様、関係機関の皆様の尽力のおかげで、盛会裏に終えることができました。

「オール釧路で、へき地の良さを実感できる」「釧路で培ってきたへき地教育を全道へ発信する」「子どもの実態から出発し、子どもへ返す」を合い言葉とした釧路大会では、地元教育大学を共同研究者として迎え、今までとは違った視点からの示唆をいただくことで、今後の研究の一層の充実につなげたいという思いを強く感じました。

さらに、本大会では、これまでにない取り組みとして、北海道外の方々にも声をかけ、青森県や山形県、遠くは、兵庫県・長崎県からの参加があったことも大きな成果であると感じております。

また、後志プレ大会も「自然豊かな後志から夢・希望に挑戦する子らへ 豊かな心と学び続ける力を！」の大会スローガンのもと8町村8会場で、へき地・複式の強みを生かし、子どもの変容に重点を置いた教育実践が公開され、次年度の大会に向けた道筋が付けられました。

これから、両大会の成果と課題を整理し、第9次長期5カ年研究推進計画最終年度のまとめと第10次長期5カ年研究推進計画の発展へとつなげてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、来年度は、道へき復連の創立70周年を迎えます。学校統廃合が全道各地で進む中、加盟校は激減しておりますが、組織は熱く、会員の皆様の情熱や思いがいささかも損なわれていないことが何よりであります。今、へき地・複式教育は大変厳しい状況にある中、こんな時だからこそ新しい時代のへき地・複式教育を創造するために全道が一つになり共同研究の輪を一層広げていくことが必要だと考えております。今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年度 会務報告

事務局長 古田 統

1 一般経過報告

【5月】

- 12日(金) 平成29年度定期総会
(ライフオート札幌)
新旧役員引継、第1回組織検討委員会
第1回常任委員会
関係機関への就任挨拶回り
(道教委、北海道通信社)
- 13日(土) 道へき複連OB会総会
(アパホテル：委員長・事務局長・事務局次長)
- 22日(月) 平成30年度の後志大会開催に向け、
後志教育局及び管内教育長部会総会
において協力依頼を行う
(倶知安：委員長・事務局長)
第1回企画委員会・第1回研究推進
委員会

※～23日(ライフオート札幌)

- 31日(水) 全へき連 平成28年度 第6回理事会
(東京：田中委員長・柿崎事務局長)

【6月】

- 1日(木) 全へき連春季総会
(東京：田中委員長・柿崎事務局長)
- 2日(金) 第1回理事会(東京：柿崎委員長)
- 13日(火) 情報誌159号発行
- 20日(火) 日本教育公務員弘済会 教育研究団
体助成金決定・入金《20万円》
- 28日(水) 全道大会助言担当指導主事決定
- 29日(水) 第2回常任委員会
(ライフオート札幌)
北海道小学校長会との教育懇談会

【7月】

- 10日(月) 第2回企画委員会・第2回研究推進
委員会 ※～11日(ライフオート札幌)
- 27日(木)～28日(金)
全へき第2回理事会(東京：委員長)
全へき第1回図書編纂委員会
(午後 東京 研究部長)

【8月】

- 3日(木) 第2回組織検討委員会
(ライフオート札幌)
第3回常任委員会
(ライフオート札幌)

- 4日(金) 道小・道中・道公教 文教施策懇談
会及び各課懇談会
(ポールスター札幌・道庁本館：総
務部長)

【9月】

- 20日(水) 第1回監査委員会・第4回常任委員
会・第3回企画研究推進委員会
(釧路町公民館)
- 21日(木)～22日(金)
評議委員会
第66回全道へき地複式教育研究大会
釧路大会全体会、分散会(釧路町公
民館)
2日目 分科会(管内8会場)
- 29日(金) 第67回全道へき地複式教育研究大会
後志プレ大会 各分科会への巡回訪問
(総務部長・財政部長・事務局次長)

【10月】

- 31日(火) 全へき連秋季総会、第3回理事会
(高知市～委員長)

【11月】

- 1日(水) 第66回全国へき地教育研究大会高知
大会 ※～2日(委員長、研究部長)
- 14日(火) 情報誌160号発行
- 18日(土) OB会役員会、研修会
(札幌アパホテル～委員長、事務局
長、事務局次長)
- 29日(水) 全へき連第4回理事会
(東京～委員長)
- 30日(木) 第43回全へき連研究推進協議会
(東京～委員長、研究部長)

【12月】

- 1日(金) 第43回全へき連研究推進協議会
(東京～委員長、研究部長)
全へき連第2回図書編纂委員会
(午後 東京～研究部長)

【1月】

- 13日(土) OB会役員との情報交換会
(札幌～委員長、事務局長、事務局
次長)
- 18日(木) 第5回常任委員会
(ライフオート札幌)
- 26日(金) 全へき連第3回図書編纂委員会
(東京～研究部長)

【2月】

- 1日(木) 弘済会 平成29年度教育研究団体助
成研究成果報告書提出

- 13日(火) 情報誌161号発行
第4回企画委員会、第4回研究推進委員会
※～14日(ライフオート札幌)
- 15日(木) 全へき連第5回理事会
※～16日(東京～委員長)
- 28日(水) 道教大名義使用報告書提出

【5月】

- 10日(木) 平成29年度第6回常任委員会、第2回監査委員会
- 11日(金) 平成30年度 北海道へき地・複式教育研究連盟定期総会
第1回組織検討委員会
第1回常任委員会
関係機関挨拶回り(道教委ほか)
地区各役員、研究大会、全へき新聞執筆者、情報配布数報告書配布
基本調査集計表配布、引き継ぎ、第2回常任委員会案内状配布

2 一般業務報告

本連盟は、昭和23年に結成され69年目を迎えました。これまでの69年間、地域に根ざした教育を探求するとともにへき地校の教育条件整備を進め、確実に成果を重ねてきました。平成29年度においても、研究、組織、教育条件整備等の課題解決に向け業務を推進してきましたので、その概要を申し上げ会務の報告と致します。

- ◇ 研究面では、第9次長期5か年研究推進計画の4年目として、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会、第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会を開催いたしました。現地実行委員会、会場校並びに各地区へき地複式連盟(研究会)の多大なご努力とご協力により、実践的研究成果が全道に発信され、第9次長計の実践研究整理期として、その研究成果の発信をすることが出来ました。また、1日目に開催した「分散会」では、学校・学級経営、学習指導あわせて3つの実践発表のもと熱心な討議をいただき、全道各地のへき地・複式教育の交流と充実を図ることができました。
- ◇ 組織面では、各市町村による学校規模適性配置計画の推進や少子化による児童生徒数の減少からへき地・小規模校の統廃合が進み、加盟校及び会員の減少が加速しております。これに伴う今後の組織や事業の在り方、財政運営につい

て、組織検討委員会の答申を受けて、ICT活用による業務推進を図るとともに、全道研究大会については隣接地区合同開催の是非などのアンケートに取り組んでいくこととなりました。

また、未加盟校への働きかけについては、各地区に道へき・複連発足の趣旨や目的、加盟することのメリット等についての啓発活動を行うなどの意識高揚に向けた取組をお願いしてきました。

- ◇ 教育条件整備については、3学級4定員や教頭未配置校の解消をはじめ、へき地複式校の抱える諸課題解決のため、全へき連、道小、道へき・複連OB会と連携しながら、関係機関に要請してきました。

・「へき地手当に関する規則の運用等についての一部改定」により平成22年4月から始まったへき地新級地の適用について、今後も、地域の実態に応じた算定であるか、適切な調整点であるかなどの検討に努め、国や道へ意見具申を続けていきます。

- ◇ 研究推進、組織確立、財政上の諸課題につきましては、組織検討委員会を設置して検討を重ねてきました。中間答申をもって報告させていただきましたが、連盟だけでなく各地区の課題も踏まえた論議を重ね、時代や社会環境の変化に対応した組織運営を目指してきました。

3 情報関係活動経過報告(概要)

事務局次長 長谷川 孝

- 5月12日(金) 定期総会で「道へき・複連情報」発行計画を承認
情報159号原稿依頼
- 6月13日(火) 情報159号発行・発送
14日(月) 道へき・複連HP更新
- 9月9日(木) 情報160号原稿依頼
- 11月15日(水) 情報160号発行・発送
16日(木) 道へき・複連HP更新
- 1月18日(木) 情報161号原稿依頼
- 2月13日(火) 情報161号発行・発送
14日(水) 道へき・複連HP更新

4 情報関係業務報告

(1) 情報関係

「道へき・複連情報誌」(159、160、161号)を発行し、広報活動に努めました。159号では定期総会特集、160号では第66回全道へき地複式教

育研究大会釧路大会特集、161号では平成29年度の活動報告及び次年度の本大会である後志大会やプレ大会の空知大会についてのお知らせを掲載しました。今年度開催された釧路大会の推進に際し、ご尽力いただいた釧路へき・複連の皆様をはじめ、多くの方に情報提供や原稿執筆を賜りましたことに改めて感謝とお礼を申し上げます。

各地区のへき・複連事務局におかれましては、お忙しい中情報提供、加盟校への連絡や配布、お願い等に対して快くご協力いただいたことに心よりお礼を申し上げます。

〈各号の主な内容〉

【第159号】

平成29年度 道へき・複連定期総会特集号

- ・定期総会報告
- ・役員・代議員研修会の概要
- ・第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会の案内
- ・第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会の案内

【第160号】

第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会特集号

- ・釧路大会の報告
- ・第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会案内

【第161号】

平成29年度 道へき・複連活動報告特集号

- ・今年度の活動報告
- ・第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会に向けて
- ・第68回全道へき地複式教育研究大会空知プレ大会に向けて

〈道へき・複連ホームページの内容〉

- 1 道へき・複連刊行物
- 2 研究主題
- 3 全道へき地複式教育研究大会関係・プレ大会関係
- 4 全国へき地教育研究大会関係
- 5 実践研究発表大会
- 6 要覧
- 7 へき地教師の歌「太陽となろう」・シンボルマーク

(2) 「全国へき地教育新聞」関係

① 購読拡大の取組

「全国へき地教育新聞」は、全へき連とへき地・

複式校を結ぶ唯一の機関紙であり、へき地・複式教育に係る各種情報を掲載するとともに、私たちの教育実践を発表し、広く交流できる新聞です。しかしながら、へき地・複式校の減少に伴い、購読料の減少が発行を困難にする要因になってきている現状もあります。読者の購読料により刊行される新聞のため、より多くの読者に購読されるよう今後も努めていかなければなりません。各地区へき・複連で納入する場合については一部に付き150円の還元をさせていただいていることをお知らせしながら、改めて各地区での「全国へき地教育新聞」の購読強化をお願いするところです。

〈取組の手立て〉

- 購読率の低い地域に購読校を増やすよう働きかける。
 - 各地区へき・複連に未購読校への働きかけをすると同時に、関係機関に購読料の予算化を働きかける。
 - 各地区へき・複連の会議、会合において購読の呼びかけを行う。
 - 各地区へき・複連に「全国へき地教育新聞」担当者または係を置き、地区内の購読校の把握をし、集金事務を行う。
 - 「全国へき地教育新聞」担当者を決め、地区へき・複連との連携を図る。
- ②「全国へき地教育新聞」原稿執筆の取組
原稿種別、送付月を地区ごとに割り振り、執筆をお願いしました。(今年度原稿本数 38本)
- これまでの各地区へき・複連および執筆者各位のご協力に対しまして心より感謝とお礼を申し上げます。なお、全国へき地教育新聞編集局の依頼で、執筆原稿はメールまたは封書にて執筆者が直接送信(返信)することになっておりますので、次年度も同様をお願いいたします。

〈原稿種別〉

- 1 論評(市町村教育長、各局指導主事等)
- 2 山紫水明(校長)
- 3 随想(教頭、教務主任、学級担任等)
- 4 心温まる話(どなたでも)
- 5 私の推薦する一冊の本(校長、教頭等)
- 6 やすらぎ保健室(養護教諭)
- 7 さわやか事務室から(事務職員)
- 8 わが町・わが学校(保護者)
- 9 研究実践校紹介(実践校)
- 10 子どもたちの学校紹介(児童・生徒)
- 11 子どもたちの作品(児童・生徒)

平成29年度 総務部報告

総務部長 温泉 敏

1 活動経過報告

- 5月8日 道小総会・研修会
 9日 第1回道小理事研修会
 分科会運営研修会
 11日 第5回常任委員会 (H28)
 12日 道へき・複連総会
 第1回組織検討委員会
 第1回常任委員会
 6月12日 組織検討委員会
 各地区事務局に意見書を配信
 16日 全道小学校長会長研修会
 29日 第2回常任委員会
 道小との教育懇談会
 7月3日 第2回道小理事研修会
 分科会運営研修会
 11日 組織検討委員会 各地区意見集約
 全国へき地教育連盟基本調査配信
 21日 全国へき地教育連盟基本調査集約
 31日 全国へき地教育連盟基本調査報告
 8月3日 第3回常任委員会
 第2回組織検討委員会
 4日 文教施策懇談会・各課懇談会提言
 9月7日 第3回道小理事研修会
 分科会運営研修会
 8日～9日
 道小宗谷大会 (運営責任者)
 20日 第4回常任委員会
 21日～22日
 第66回全道へき地複式教育研究大会
 釧路大会
 第2回評議委員会 (21日)
 ～組織検討委員会中間報告
 29日 第67回全道へき地複式教育研究大会
 後志プレ大会
 12月1日 組織検討委員会最終報告集約
 18日 第4回道小理事研修会
 道小結成60周年記念式典
 1月18日 第5回常任委員会
 2月23日 第5回道小理事研修会
 5月10日 第6回常任委員会
 5月11日 平成30年度定期総会

2 平成29年度 教育予算要望

〈基本的な要望事項〉

1. 教員定数の配置基準および学級編成基準の改善
2. 教職員の生活の安定・向上のための改善
3. 教職員の資質向上に関わる研修についての改善
4. 学校経営の適正化と充実
5. へき地教育の推進についての改善
6. へき地勤務条件の充実

上記「基本的な要望事項」にもとづき、「北海道文教施策・予算策定に関する要望活動」「全へき連と連携した要望活動」を中心に行ってきた。その中で「平成29年度の文教施策と予算策定に関する要望書」には、昨年度同様「へき地校・複式校・小規模校・併置校に関わる」項目において要望を強調した。また、道教委との文教施策懇談会・各課懇談会で「へき地複式教育における課題」についての提言を行った。今後も、へき地・複式教育の教育環境の向上を目指し、ねばり強く取り組んでいく必要がある。

3 へき地級別指定見直しに関する取組

次期改定に向けて、道教委の動きを注視しながら「地域の実態に応じた算定であるか。」「適切な調整点であるか。」など情報収集に努め、全へき連、道小、道へき・複連OB会と連携を深めていく。

4 調査活動

例年実施している「全へき連基本調査」を実施

5 組織検討委員会の活動概要

(1) 組織検討委員会の構成

- 委員長：松田 孝一 (道北ブロック・宗谷)
 委員：能代 仁 (道南ブロック・檜山)
 ：坂下 恵一 (道央ブロック・空知)
 ：三上 晃一 (道東ブロック・オホーツク)

他に常任委員を加え、計10名で構成

(2) 検討課題

- ①研究大会・プレ大会のあり方
- ②最終報告に基づく取組について
 - ・組織の活性化と加盟校拡大
 - ・研究活動の充実と深化
 - ・財政の問題

③その他：今日的課題

平成29年度 大会部報告

大会部長 今井 直史

1 大会名

第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会
第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会
第66回全国へき地教育研究大会高知大会

2 釧路大会の概要

(1) 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心で
たくましくふるさとを切り拓く子供の育成」
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

(2) 大会スローガン

「タンチョウはばたく釧路の大地から 未来を
切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を」

(3) 開催期日

平成29年9月21日(木)～22日(金)

(4) 大会内容

◆21日(木)：釧路町公民館

開会式

基調報告

分散会(学校・学級経営、学習指導1・2)

閉会式(感謝状贈呈式、次期開催地挨拶)

◆22日(金)：6町1村8会場

第1分科会 … 釧路町立昆布森小学校

第2分科会 … 厚岸町立太田小学校

第3分科会 … 浜中町立散布小中学校

第4分科会 … 標茶町立沼幌小学校

第5分科会 … 標茶町立塘路小中学校

第6分科会 … 弟子屈町立奥春別小学校

弟子屈町立美留和小学校

弟子屈町立和琴小学校

第7分科会 … 鶴居村立下幌呂小学校

第8分科会 … 白糠町立茶路小中学校

(5) 成果と課題

成果として、分科会会場校が設定した研究主題による研究を大事にしながら、第9次長計との関連を図るとともに、プレ大会で明らかになった成果と課題の検証に取り組み、これまで築いてきた「オール釧路」で取り組む釧路ならではの複式教育のよさを生かし、そのよさを実感できる大会になったことがあげられた。

課題として、小規模・複式校の減少に伴って分科会会場校をバックアップする協力校が減り複式研究を進めていくことが困難になってきていること、また、各分科会から、①複式の特性を生かした指導方法の工夫 ②「わたり・ずらし」「同時間接」のより効果的な活用 ③学びの自立をさらに進めるための学習過程の工夫・改善 ④交流場面を学

年の発達段階に応じて充実させる等があげられた。

3 後志プレ大会の概要

(1) 研究主題

「主体的・創造的に学び、豊かな心で
たくましくふるさとを切り拓く子供の育成」
～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

(2) 大会スローガン

「自然豊かな後志から 夢・希望に挑戦する子
らへ 豊かな心と学び続ける力を！」

(3) 開催期日

平成29年9月23日(金)

(4) 開催会場

第1分科会 … 寿都町立潮路小学校

第2分科会 … 蘭越町立昆布小学校

第3分科会 … ニセコ町立近藤小学校

第4分科会 … 真狩村立御保内小学校

第5分科会 … 喜茂別町立鈴川小学校

第6分科会 … 倶知安町立西小学校樺山分校

第7分科会 … 神恵内村立神恵内小学校

第8分科会 … 赤井川村立都小学校

(5) 後志大会の意義

次年度、第9次長期5カ年計画の最終年度として、全道大会の開催に向け組織作りや研究体制の基盤を固めるとともに、関係者の連携を深め、実り多い全道大会となるよう、へき地「3特性」の実践を深める大会とする。

4 全国高知大会

(1) 研究主題

「ふるさとで心豊かに学び、新しい時代を切り
拓く子どもの育成」
～へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした 学校・学級経営と学習指導の深化・充実をめざして～

(2) 大会スローガン

「中山間地域の振興で
へき地教育の新しい未来を!!」

(3) 開催期日

平成29年11月1日(水)～3日(金)

(4) 分散会提言

①第3分散会

課題3(学校・学級経営の深化・充実)

・地域に根ざし、家庭や地域と連携して豊かな心をはぐくむ教育活動の創造と推進を図る。

②提言発表者(十勝地区)

鹿追町立瓜幕小学校 滝澤 政巳 教諭

③研究主題

「ふるさとを誇りにし、心豊かに学ぶ子どもの育成」

～地域・保護者と連携した自然体験学習を通して～

平成29年度 研究部報告

研究部長 岡嶋 治

1 研究主題

『主体的・創造的に学び、豊か心でたくましくふるさとを切り拓く子供の育成』～へき地・複式教育の特性を生かし、児童生徒一人一人に未来に「生きる力」をはぐくむ学校・学級経営と学習指導の充実をめざして～

2 研究活動の重点と成果

道へき・複連第9次長計の4年次として、実践研究を充実させ、地域に根ざした魅力ある教育活動の創造・発展に努める。

《重点》

- (1) 「第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会」の成功を期した現地実行委員会との連携及び共同運営
- (2) 従来の実践研究大会にかわる発表の場の企画・実践（全道へき複研分散会）
- (3) 道へき・複連第9次長計「実践研究整理期」（第4年次）としての確かな実践、記録の累積・収集
- (4) 「第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会」の効果的な開催
- (5) 研究資料・情報等の編集と発行（「研究主題・指導形態等一覧」「研究部情報」）
- (6) 各地区へき・複連及び全国へき地教育研究連盟、教育関係各機関・団体との連携
- (7) 道へき・複連第10次長計の策定に向けての資料収集と原案作成

《主な成果》

◎第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会

9月21～22日、釧路管内8会場で開催され、全道から、のべ約550名の参加者があった。大会スローガン『タンチョウはばたく釧路の大地から未来を切り拓く子らに 豊かな心と確かな学力を』のもと、授業公開、熱心な研究協議が行われた。

◎第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会

9月29日、後志管内8会場において開催され、全道各地から285名の参加者があった。大会スローガン『自然豊かな後志から 夢・希望に挑戦する子らへ 豊かな心と学び続ける力を！』のもと、自ら学び合う児童の育成等について授業公開、研究協議が行われた。

◎全道へき複研釧路大会における分散会

9月21日、釧路町公民館において、第66回全道へき地複式教育研究大会釧路大会の全体会后に実施した。

管内3地区から、学校・学級経営（1本）と学

習指導（2本）の提言発表が行われた。第9次長計に基づいて発表された提言はいずれも質が高く、研究協議も今年度からワークショップ形式により、活発に話し合いがなされた。

◎研究主題等一覧の集計と活用

全道の加盟校の研究主題・研究分野、教科等指導形態について調査集計し、分析を加えてまとめた。各地区及び加盟校にCD化して配布、HPにも掲載して活用を図っている。

3 研究部事業報告

5月22日 第1回企画委員会

- ・企画委員会の体制と各業務内容の確認
- ・全道へき研釧路大会の参加協力体制について
- ・日程や役割分担の確認と研究推進委員会の運営について
- ・10次長計の策定に向けて

5月22日～23日 第1回研究推進委員会

- ・平成29年度研究部計画の確認
- ・研究推進委員の業務と役割分担
- ・後志プレ大会の助言者決定
- ・10次長計の策定に向けて
- ・各管内へき・複連活動状況交流

7月10日 第2回企画委員会

- ・全道へき研、プレ研の進捗状況
- ・分散会の進め方について
- ・今後の研究と資料蓄積について

7月10日～11日 第2回研究推進委員会

- ・研究主題・指導形態等調査発行
- ・研究部情報第1号発行
- ・分散会の運営検討について

9月20日 第3回研究推進委員会

- ・分散会の運営確認
- ・研究部情報第2号発行計画

9月21日～22日 釧路大会

- ・分散会開催
- ・釧路管内8会場（研究協力者）

9月29日 後志プレ大会

- ・後志管内8会場（研究協力者）

2月13日 第4回企画委員会

- ・今年度の活動のまとめと次年度への展望
- ・分散会の反省
- ・次年度の事業計画、研究推進体制について
- ・10次長計原案検討

2月13日～14日 第4回研究推進委員会

- ・研究部情報第2号の発行
- ・今年度の事業反省・まとめ
- ・次年度の全道大会分散会について
- ・各管内へき・複連活動状況交流
- ・次年度の事業計画、研究推進体制について
- ・10次長計原案検討・完成

平成29年度 財政部報告

財政部長 辻崎 洋一

1. 平成29年度業務執行について

- (1) 会計業務については、事務局及び各部、各委員会、各地区へき・複連との連携を図り、計画に従って執行しております。
- (2) 道へき・複連会費については、当加盟会員数の微減により、会費収入がやや減少いたしました。計画に従って執行してまいりました。
- (3) 全へき連会計につきましては、負担いただいた分を滞りなく支出することができました。今後、次年度に向けて全へき連への免除申請を行って負担金を決定いたします。また、管理職負担金につきましても、各地区のご協力により入金され、全へき連への送金を終えております。
- (4) 刊行物の購読促進につきましては、全へき連発行のへき地・複式・小規模学校からの発信「ともに紡ぐ」のみの取組となりました。各地区へき・複連においては発刊の趣旨をご理解賜り、ご協力いただいたことに感謝いたします。
なお、送金先については、各地区へき・複連から直接全へき連へ納入することになっております。
- (5) 運営資金会計は、拠出金の大幅増となりました。納入された金額の中から規定通り全へき連へ送金いたします。各地区へき・複連のご理解とご協力で心より感謝申し上げます。

2. 平成30年度の予算編成について

- (1) 予算編成における収入の見込みについては、学校の統廃合や学校規模の縮小により、今後も学校数・教職員数の減少等が予想されます。予算編成の基礎資料として、2月中旬に各地区のへき・複連の加入校数・教員数を調査し、収支予定額を把握した上で予算を編成します。各地区の担当者の皆様にはお手数をかけますが、よろしく申し上げます。
- (2) 平成30年度の一般会計については、諸活動の充実に努めるとともに、削減可能な項目をより意識して予算編成を行い、平成30年度総会に提案します。
- (3) 現在執行中の旅費規定は、予算編成の作業の中で検討し、会員の皆様にご協力いただき圧縮可能な範囲で削減していきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。
- (4) 全へき連会計及び運営資金会計は、納入される負担金等の範囲内で執行します。各地区へき・複連におかれましては、管理職の皆様をはじめ教職員の皆様への納入拡大への働きかけや、未加入校の加盟を促すようお願いいたします。
- (5) 刊行物会計については、平成30年度も、本道の実践も盛り込まれた全へき連の刊行物発行が予想されます。各地区へき・複連においては、研究図書を購入として予算付けし、購読促進の取組をぜひお願いいたします。

平成29年度 一般会計執行状況 (平成30年1月20日見込)

【収入の部】

項目	29年度予算	決算見込	増・減(▲)
会費	3,282,684	3,272,592	▲ 10,092
繰越金	281,517	281,517	0
繰入金	800,000	800,000	0
助成金	200,000	200,000	0
雑収入	359	36	▲ 323
合計	4,564,560	4,554,145	▲ 10,415

【支出の部】

項目	29年度予算	決算見込	増・減(▲)
研究大会費	910,000	910,000	0
研究調査費	1,770,000	1,704,970	▲ 65,030
研成刊行費	302,000	301,296	▲ 704
事務局費	1,582,560	1,304,635	▲277,925
合計	4,564,560	4,220,901	▲343,639

◇学校数 242校 ◇教員数 1,552名

【差引残高(1/20見込)】 4,554,145円 - 4,220,901円 = 333,244円

第67回 全道へき地複式教育研究大会 後志大会の開催に向けて

後志へき地・複式教育研究連盟

研究部長 荒木 俊行

1 はじめに

昨年9月29日（金）管内8会場において、第67回全道へき地複式教育研究大会後志プレ大会が開催されました。

後志へき地・複式教育研究連盟は、小樽市を除く後志管内19町村中12町村にまたがる小学校14校、中学校1校で構成されています。後志管内の小学校40校中30校がへき地校であり、そのうち約5割が複式校となります。まさに後志のへき地・複式教育を充実させることが、後志管内の教育の充実・発展につながるものと考え、本連盟では、数々の研修会や情報発信などを行っております。今回のプレ大会の開催にあたり、会場校はもとより研究協力校や近隣校の教職員が一つとなり、研究を推進してまいりました。各町村における精力的な授業研究や指導案検討により、会場校の授業改善はもちろん、研究協力校及び本研究連盟にとっても授業力向上につながるものとなりました。

こうした取組の下、開催された後志プレ大会には、管内・管外より全会場合わせて260名程の教職員及びご来賓・学校関係者の皆様にご参加いただき、多くの貴重なご意見・ご助言をいただきましたことにこの場をお借りし、改めて心からお礼を申し上げます。

また、本研究大会の開催にあたり、多大なるご支援・ご協力をいただきました北海道へき地・複式教育研究連盟をはじめ、北海道教育庁後志教育局、各町村教育委員会、会場校・研究協力校・近隣校等、教育関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

2 後志プレ大会の成果と課題

後志プレ大会は、北海道へき地・複式教育研究連盟第9次長期5か年研究推進計画に則り、実践検証を進めてまいりました。また、各校では、自校の研究課題・研究内容と第9次長計の2領域8課題との擦り合わせを行い、関連を明確にしながら研究を進め、次のような成果と課題が明らかになりました。

【成果】

- ・学校全体での取組により、学習規律や学習の流れが定着している。また視覚化することにより、児童が見通しを持って学習に取り組むことができている。

- ・ノート指導と連動した板書計画により効果的な指導をすることができている。
- ・レディネスの活用等、児童の実態を的確に把握し、単元構成や個別の指導に生かす取組が進められている。
- ・学習リーダーの役割を段階ごとにまとめ、育成を図ることにより、主体的な学びにつながってきている。

【課題】

- ・本時の課題とまとめの整合性を今一度確認する必要がある。また、まとめが児童の「できた」「わかった」という実感によりつながるものにする。
- ・各学校で作られている学習の流れ、スタンダードの見直しとより一層の定着を図ることにより、「主体的な学び」につなげていく。
- ・交流の在り方と学習リーダーの育成について研修を深め、「対話的な学び」となる方策を講じる必要がある。また、一人学年においては、より効果的な教師との関わり等についても考えていく必要がある。
- ・見通しと振り返りを位置づけ、より「深い学び」となるよう授業を組み立てていく。

3 後志大会に向けて

第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会は、北海道へき地・複式教育研究連盟第9次長期5か年研究推進計画最終年次まとめの大会として、これまでの大会で累積された多くの実践成果を典型化・定型化するとともに新学習指導要領の理念を踏まえた取組を計画的に進める機会となることを目指しております。これまでの後志へき地・複式教育の積極的な発信の場、貴重な学びの場ととらえ、さらに第10次長期5か年研究推進計画策定にあたっての指針を示す大会となるよう以下の3つを合い言葉に準備を進めております。

1. “そだてる”
子どもたちに確かな学びと豊かな心を
2. “つなぐ”
長年にわたり培った後志の教育を全道へ
3. “ひろげる”
未来を担う子どもたちに「生きる力」を

第67回全道へき地複式教育研究大会後志大会は、大会スローガン「自然豊かな後志から 夢・希望に挑戦する子らへ 豊かな心と学び続ける力を！」の下、本年9月20日・21日に開催いたします。全道の皆様と共に学び・語り合い、本道複式教育の充実と発展に寄与する大会となるよう努めてまいります。皆様のご参加を心からお待ちしております。

第68回 全道へき地複式教育研究大会 空知プレ大会の開催について

空知へき地・複式教育研究連盟
研究部長 岩城 之泰

1 はじめに

本研究連盟加盟校は、平成30年度現在、5市町で15校です。さらに各市町の適正配置計画により、今後複式校は減少し平成32年には、現在の半数近くになる見通しです。このような教育の大変革期にあっても、目の前に一人でも子供がいる限り、質の高い教育を行うのは、学校教育の使命です。未来を築く子供たちには、教育の質に差があってはなりません。子供一人一人のために、複式教育を担う教師一人一人が、「地域に根差した教育」を共に手を携えて取り組むことが必要です。

へき地の3特性（へき地・小規模・複式形態）のメリットを最大限に活用し、共同研究を通して「少人数だからこそ伸ばせる教育」「自然や地域を取り込み、へき地だからできる教育」を力強く推進することが重要です。

2 管内の研究推進の方針

空知へき地・複式教育研究連盟は、道へき複連・空知へき複連の第9次長期5か年計画に基づいた実践的研究を推進してきました。次年度は5か年研究推進計画の5年次目になりますが、平成31年度の全道へき地・複式教育研究大会が第10次長期5か年研究推進計画の初年度になるため、本プレ大会は、第9次長計の「実践検証整理期」を踏まえつつも、10次長計に基づき研究を推進することになります。本研究連盟では、プレ大会開催に向け、空地大会実行委員会及び各支部実行委員会を組織し、プレ大会・本大会の成功を期して研究と準備を進めています。

3 空知プレ大会の概要

- (1) 大会期日：平成30年9月28日(金)
- (2) 会場：空知管内7会場
- (3) 各分科会（平成29年度研究教科・年次）
(平成29年度4月現在の学校規模)

- ①深川市立北新小学校 〈国・算 1/3〉
普4＋特2（複式2学級） 児童数37人
- ②深川市立納内小学校 〈算数 1/3〉
普5＋特4（複式1学級） 児童数53人
- ③美唄市立峰延小学校 〈算数 1/3〉
普3＋特1（複式3学級） 児童数26人
- ④岩見沢市立メープル小学校 〈国・算1/3〉
普4＋特2（複式2学級） 児童数33人
- ⑤栗山町立継立小学校 〈算数 1/3〉
普4＋特1（複式2学級） 児童数47人
- ⑥長沼町立長沼舞鶴小学校 〈算数 2/3〉
普3（複式2学級） 児童数20人
- ⑦長沼町立南長沼小学校 〈算数 2/3〉
普4（複式2学級） 児童数46人

4 おわりに

空知管内は、これまで共同研究を核とした複式教育の実践を積み上げ、創り上げてきた実績があります。次年度のプレ大会、そして平成31年度の本大会において管内複式校の協働・共育・共生の下、英知を結集し、共同化による組織的・計画的な実践研究を進める大会にしていきます。その中で研究の交流・討議を大切にし、成果と課題の共有化により、教育の在り方そのものを問う総括的な研究大会にしていきます。第68回全道へき地複式教育研究大会空知プレ大会にご参加いただきますよう、心よりお願い申し上げます。